


ストリートから東京の今を伝える情報サイト

 style-arena.jp

2014 Summer

2014年 夏のストリートスタイル総括レポート

JFA「style-arena」Report 2014 SUMMER

www.style-arena.jp

ストリートから東京の今を伝える情報サイト



2014 年夏のストリートスタイル総括レポート

CONTENTS

地域別ファッションの特徴	3
オールホワイト <i>All White</i>	4
クロップドトップス <i>Cropped Tops</i>	6
サングラス <i>sunglasses</i>	8
ボタニカル柄 <i>Botanical Pattern</i>	10
バケットハット <i>Bucket Hat</i>	12
腰巻きスタイル	13
白無地 Tシャツ <i>Blank T-shirt</i>	14

TOKYO STREET STYLE 2014 SUMMER

地域別ファッションの特徴

東京のストリートファッションを観察し発信している web サイト「style arena.jp」。原宿、渋谷、表参道、代官山、銀座という、テイストが異なった5つのエリアのストリートスタイルを掲載し、リアルなファッションの動きや流れを伝えている。

現在は以前とは違い、地域別ファッションの特異性というものは薄まりつつある。それでもまだ地域毎に根付いているファッションスタイルがあり、“違い”を感じる事ができるのも事実。このレポートではその違いについてもお伝えできればと思っている。

原宿

セオリーを無視したバランス感覚。

バランスや感覚に優れた若者が多く、モード、カジュアル、トラッドなどのスタイルを融合した、いい意味でセオリーを無視したスタイルを生み出している。また、原宿は東京で一番古着屋が集まっている街。ほとんどの人が古着を取り入れ、個性的なファッションが見られる。



渋谷

この街を見れば、日本の女性の“今”が分かる。

流行の移り変わりが最も激しい街。流行のブランドに集中した結果、似たようなファッションスタイルをよく見る事が多い。“流行はあるが個性がない”のが渋谷。しかし常に新しい物を求め、敏感に探し、纏っているのが渋谷だ。この街を見れば、日本の女性の“今”が分かるのかもしれない。



表参道

スマートでモードな洗練スタイル。

ハイブランドの路面店が並ぶ表参道では、集う人々のスタイルは特に洗練されている。基本はモノトーンを基調にしたスマートでモードなファッションで、小物使いがうまいのも特徴。無駄な物は付けず、コーディネートが足し引きの感覚が優れている。高級なものもそうでない物も、等身大で飾らずにスタイリングできるセンスを持ったエリアだ。



代官山

流行に流されない個性派が集う街。

雑貨屋や古着屋で買ったノーブランド服や小物を身につけている人が多い。また、人と同じファッションを嫌う人も多く、流行に流されにくい。特定のショップやブランドにも強い拘りを持たず様々なショップをまわって同じブランドが重ならない。原宿とは違う個性がある魅力ある街だ。



銀座

ラフさと高級さが同居した上品スタイル

全体的には年齢層が若干高めで、上品で落ち着いた雰囲気を持った人が多い。ラグジュアリーブランドのバッグや時計を身につけている人も多いが、それでも全身を高級品で固めている人は少ない。ファストファッションのブランドを MIX して決して嫌らしくならず、ラフさと高級さを同居したスタイルに仕上がっている。



オールホワイト *All White*



大物になったオールホワイトルック

2014S/Sでメディアー押しカラーは「ホワイト」。実際のストリートファッションでも確かにホワイトのアイテムは勢いがある。特に原宿付近は洋服だけでなく、小物にホワイトを取り入れている人も多く、春夏らしさをより感じる街になっている。

更に今季は「オールホワイト」に仕上げるトータルルックが旬だ。昨年男女ともにトレンドとなったが、今年は女性を中心に勢いが加速し、“大物トレンド”となった。涼しげで清楚且つ知的な雰囲気漂うホワイトはいいことづくめで取り入れるメリットは多い。また、今季の白アイテムはバリエーションが豊富。色加減や素材によって様々な白の組み合わせができるから新鮮なオールホワイトの着こなしを味わえる。



POINT

コーディネートで大事なことは上下で異素材同士をマッチングさせる事。例えばトップスがスウェットでボトムがシフォンスカートの合わせ。この素材による少しの色差がスタイリングに奥深さがある。ちなみにセットアップ以外で上下同素材を組み合わせるとバランスが崩れる恐れがあるから注意が必要。平坦で野暮ったく見えてしまい、“単なる白い人”になってしまうのだ。

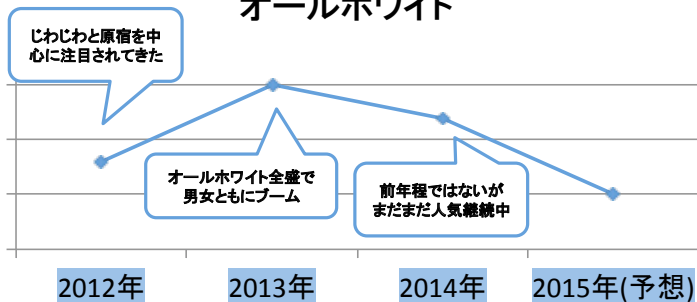


POINT

上下まったく同じ白で合わせる必要はなく、微妙にずらした白同士を組み合わせるのが今年流。しかし、もし難しく感じるようだったら、セットアップがオススメ。単品同士では難しい上下のバランスは悩まずに済み、靴とバッグだけ考えればいから十分にオールホワイトルックを楽しめるだろう。



オールホワイト



クロップドトップス *Cropped Tops*



クロップドトップスに夢中な訳

昨年からのトレンドが続いている「クロップドトップス」。今年は更に勢いが加速してレディースの間では大ブームとなっているアイテムだ。クロップドとは「切り込まれた、切り取られた」の意味。裾丈を通常より短くカットした物で、大体は6~7分丈のものを指し、ウエストラインより短いトップス。フィット感あるコンパクトなノースリーブから、Tシャツやスウェット素材のラフなトップス、セクシーなビスチェタイプまで、今季は様々なアイテムが“切り取られ”クロップドトップスとなって登場した。



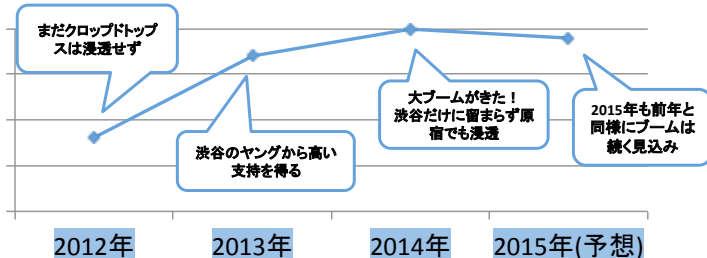
POINT

重要なのはハイウエストなボトムをセレクトすること。ウエスト位置が上がり、必然的に胸は短く、脚は長く見える。恐らくこの鉄板コーデは来年以降も人気を博し、街を席卷すると思う。が、主流になればなるほど、上下繋がっているワンピースなどのアイテムの勢いは落ち着き、クロップドトップスが主役に君臨し続けるだろう。

このアイテムの人気の理由が右肩上がりの理由は、スタイルアップ効果があるからだろう。トップスがコンパクトになり、ウエストのくびれが強調されスタイルがよく見える。ハイウエストパンツと合わせることで美脚効果が得られるのも魅力だ。一見、着こなしが難しく感じるかもしれないが、シャツや透け感があるトップスとレイヤードするなど、抵抗がなければ意外と取り入れられる。お腹まわりの素肌を見せたいのであれば、インナーレイヤードするのもあり。

また、クロップドトップスは、ハイウエストボトムとの相性が抜群にいい。パンツならスキニー、スカートなら流行りのペンスシルスカートやフレアスカートでも合う。

クロップドトップス



サングラス *sunglasses*

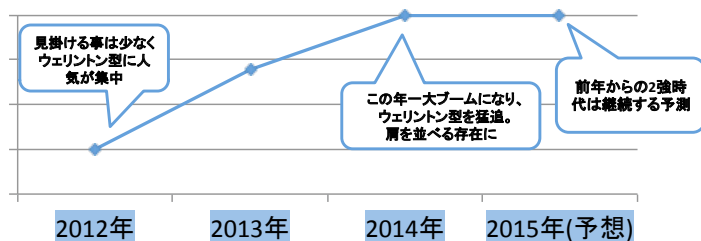


ラウンド型サングラス

「ラウンド型サングラス」はファッションistaの間でかなり着用率が高いサングラス。ラウンド型とは正円に近い形で、ジョン・レノンや映画のハリー・ポッターが掛けていた形。男性からは知的で職人気質な雰囲気、女性からは穏やかな雰囲気と小顔効果があり、高い支持を得ている。洋服のレトロブームも相まって、トレンドアイテムに躍進したとも言えるだろう。実際に原宿、渋谷、表参道辺りの東京ストリートファッションを観察しても、このタイプの人気は凄まじく、ウェリントンサングラスと人気を二分している。

さて、ラウンド型サングラスは顔の印象を柔らかくする効果、知的且つ、ミステリアスな雰囲気を漂わせることができる魅力ある個性的なアイテム。個性があると意図せずシーンを選ばずに掛けられて、どんなファッションや髪型でも似合いやすい定番のサングラスだ。

ラウンド型サングラス



POINT

ラウンド型はレンズが小さいほど個性的なイメージになる為、それが気になる人は大きめの物を選べばいいだろう。フレームの色は、冒険せずベーシックカラーが無難。ちなみに合う輪郭は「卵型」、「四角顔」、合わない輪郭は「丸顔」となっているから参考にしてほしい。

ミラーサングラス

昨年辺りからよく見掛けるようになったミラーサングラスだが、昔はダサイサングラスの代名詞だった。だが今年には更に人気が加速して男女共に掛けるようになってきている。以前はスポーツやレジャーで活用するイメージだったが、現在はワンピースやブラウスなどの着こなしに取り入れるのが当たり前になってきた。<

これも一見、難易度が高いと思うサングラスで、瞳が全く見え隠してしまうから、確かに強面風にも映る。がクールな雰囲気を買って世界のファッションistaが盛んに取り入れている。ミラーサングラスは割と小ぶりなサイズでも十分に主張できるから、顔の輪郭を生かしたスタイルリングに落とし込みやすい。また、ミラータイプは男性っぽさが出る分、フェミニンを取り入れたスタイルをするのが重要だ。ミラーの硬質感とフェミニンな女性らしい服、互いを引き立て合うバランスがいい夏スタイルになる。抵抗はあるが、トレンドを取り入れたい場合はアクセサリ代わりに胸元に引っ掛けたり、頭に寄せたりしてコーデのアクセントするのもいいだろう。



ウェリントン型サングラス

最も人気が高く、多くのファッションistaから愛用されている「ウェリントン型サングラス」。形は逆台形型になっているフロントのデザインで、知的さや渋さなど合わせ方によって様々な表情に変化できる魅力あるサングラス。フレームとしては非常にオーソドックスで主張しすぎないデザインだが、彫りが深くない日本人の顔立ちとの相性は抜群。また、男女共に似合うサングラスで、様々なスタイルの服装にも合わせやすいのも人気の理由だ。ちなみにウェリントン型といたら「Ray-Ban」という程、ストリートファッションでは一番人気のブランド。価格帯もそこまで高くなく、比較的買い求めやすい金額だ。

更に、現在では「ボスリントン型」という「ウェリントン型」の進化版もじわじわと人気が出てきた。丸みを帯びたボスリントン形と台形のウェリントン形を融合したようなデザインだが、上品さとレトロ感が程よいバランスで誰にも扱いやすい。この良いとこどりのボスリントンは今後、是非注目してほしいアイウェアだ。



ボタニカル柄 *Botanical Pattern*

柄の女王はボタニカル様

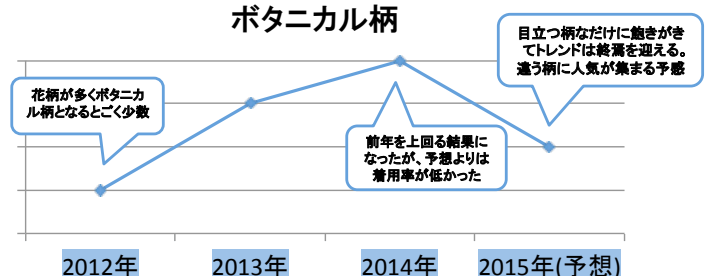
今年の春夏、一気にトレンドに浮上した柄はなんと言っても花柄で、中でも「ボタニカル柄」がブームとなっている。ボタニカルとは、植物をモチーフにしたプリントの総称で、自然の中に見られる木の葉や実、果物、草花など、少し落ち着いた柄の事を言う。分かりやすく例えると植物図鑑の絵に近いかもしれない。

以前にも「小花柄」、「大花柄」など花柄がブームになる時期はあったが、ここ数年は長い休暇に入り、あまり注目されることはなかった。従来の花柄は可愛さが際立つが、それしかないのがデメリット。しかし、ボタニカルには可愛さはもちろんのこと、ナチュラルな大人っぽさや上品さも加わる。このグレードアップして帰ってきた花柄が“柄の女王”の座についたのだ。

デニムアイテムも花柄と好相性だ。デニムの落ち着いた生地が、花柄の良き特徴を引き立て、大人な雰囲気とカジュアルさが絶妙に絡み合う。はっきり言ってインパクトが強いこの柄が来年以降も流行るかはかなり未知数。“ボタニカル女子”を味わえるのは今年だけなのかもしれない。



ボタニカル柄



POINT

合わせるカラーとしてトレンドである「ホワイトカラー」のアイテムがオススメだ。ボタニカルは多色で彩られた柄だから、“ごちゃごちゃ”とならないようにスッキリまとめるのがポイント。ホワイトアイテムはボタニカル特有の美しいカラーバランスを際立たせるいい相棒になれるだろう。



バケットハット *Bucket Hat*



再びスポットライトを浴びたリバイバルアイテム

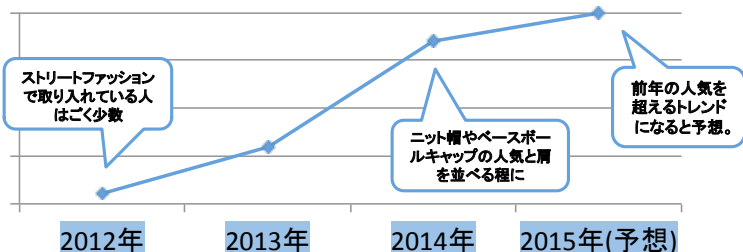
近年、ストリートファッションのヘッドアイテムとしてリードしてきたのは「ニット帽」や「ベースボールキャップ」。ところが今年の春夏は「バケットハット」という帽子の登場で、その勢力図に多少変化の兆しが出てきた。

バケットハットは古くからアウトドアで愛され、90年代のファッションにおける重要アイテムとして活躍した。テレスコープ型の帽子の1種で、バケツの形に似ている。主に水をはじく加工のコットン地などででき、本来はスポーツまたはスペクテーター用にかぶるものだ。

基本的にはアウトドースタイルやストリートスタイルハマるが、ガーリー系やキレイ目カジュアルなど幅広いコーディネートに馴染めて汎用性が高い帽子。また、定番で飽きのこないデザインで、折りたたためて持ち運びも楽だから1つ持っていればかなり重宝するだろう。キャップやニット帽に飽きて新鮮さを求めるならバケットハットで間違いない。



バケットハット



腰巻きスタイル

腰巻き VS プロデューサー巻き

昨年の春夏にシャツやカーディガンを肩に掛けて巻くスタイルが大ブームとなった「プロデューサー巻き」。このスタイルをした人、または現在もしている人はいると思うが、今年は若干勢いが落ちている。ストリートファッションを席卷した、凄まじいエネルギーは影を潜め、話題も他のファッションアイテムやトレンドカラーに移った。そんなプロデューサー巻きが弱体化している間に、めきめきと頭角を現したのが「腰巻きスタイル」だ。

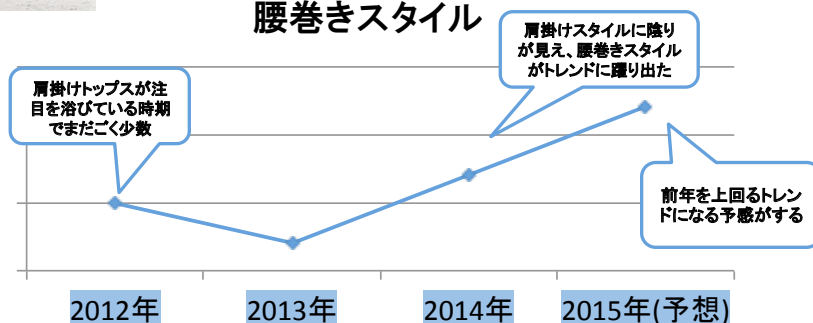
今年、プロデューサー巻きに飽きたファッションista達がこぞ取り入れて、腰巻きをメジャー化したのだが、これは海外スナップでもよく登場する人気のスタイル。腰に巻くだけでシンプルに着こなして動きが加わる上、体型カバーができる優秀スタイリングだ。ウエスト周りをすっきりと見せる事ができ、ヒップラインも隠せるから着やせ効果が得られる。



POINT

腰巻きスタイルで特に活用されるのはチェックシャツだが、柄物を投入すればウエストマーク効果でスタイルにメリハリを出せる。また、大流行しているデニムシャツを巻いてアクセント使いするのもいいだろう。今年に限ってはプロデューサー巻きではなく、とても頼りがいがある、旬な腰巻きスタイルがオススメだ。

腰巻きスタイル



白無地 T シャツ *Blank T-shirt*

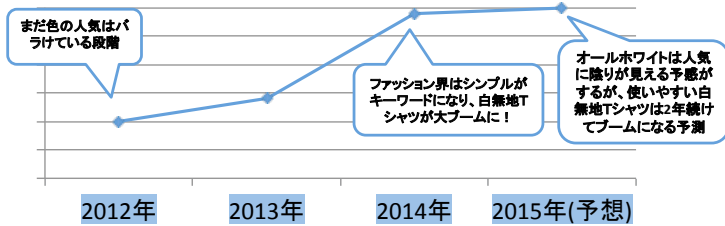
超シンプル! 無地の白 T シャツが密かにブーム

何枚あっても困らない無地の T シャツは夏に大活躍するアイテムの一つ。中でも、今季は「白 T シャツ」が男女で密かにブームとなった。白 T を主体とした着こなしというのは、シンプルすぎて手抜きを感じるスタイルになることも確かにある。ところがファッションista達が着用すれば、チープに見えないようにバランスよく着こなすから、毎度の事ながら感心した。

今年、女性はお腹出しの「クロップドトップス」が最たるトレンドアイテム。それにちなんで白 T シャツの裾を結び、お腹を出してクロップドトップス風にアレンジしている上級者がいたのは流石だなと感じた。しかし、このお腹を出すスタイルをもし男性がしたらどうだろうか…。うーん男性ではこの先ブームにはならなそうだ。



白無地 T シャツ



POINT

男性のスタイルだったらタック入りの「スラックス」で上品さをプラスし、エレガントなツバが広めの「フェルトハット」や「ストローハット」でポイントを置き、仕上げにサングラスを掛ける。このようなMIXスタイルをよく見掛けたが、白Tシャツが上手くコーディネートに溶け込み「こなれ感」もあって、シンプルすぎないスタイルが完成している



POINT

女性の場合は男性以上に白Tの着こなしのバリエーションを感じた。例えばトレンドの「タイトスカート」との合わせはシンプルになり過ぎないように、柄付きや明めのカラーをチョイスして白Tとのメリハリをつける。他には「フレアスカート」で合わせて“女性らしさ”を出す、「スキニーパンツ」や「ハイウエストパンツ」で合わせてスッキリ感とモードさをプラスするなど、様々な着こなしを見かけた。

JFA 「style-arena」 Report 2014 summer

2014年11月発行

■ 解説 企画事業部 情報発信事業
ディレクター 嶋田 有樹

■ 発行 一般財団法人 日本ファッション協会
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-5-1 神保町須賀ビル7F
TEL. 03-3295-1311 FAX. 03-3295-3295 E-mail info@japanfashion.or.jp